

日本国憲法の価値を学び、広め、安倍9条改憲を絶対に阻止するアピール

9条改憲を絶対に阻止し、憲法の価値を学び広め、憲法を活かす活動を進めましょう。

安倍政権は、2020年までに9条を含めた憲法の「改正」を強引に推し進めようとしています。安倍首相は、9条改憲に当たり、自衛隊を明文化するだけであり現状は変わらないと説明してきました。しかし、3月25日の自民党大会で発表された9条改憲案（素案）は、9条2項を残しながらも、新たに9条の2を設け、その第1項で自衛隊を明記するとともに「必要な自衛の措置をとることを妨げず」と規定しています。この「自衛の措置」とは、集団的自衛権を含むものであり、9条2項が残っても、安全保障関連法の枠を超えて無制限に自衛隊が海外で戦闘行為を行えるようになるものです。

これまで、安倍政権は、米軍の沖縄辺野古新基地建設を強行し、アメリカから求められるがままに武器を購入し続け、殴りこみ部隊である米海兵隊と自衛隊との共同訓練を実施し、これまで保有できないとされてきた航空母艦までも装備しようとするなど、軍事力をますます強化させ、自衛隊が米軍と一体となって海外で戦争をする準備を着々と進めています。さらに、シビリアンコントロールを脅かすような自衛隊のイラクや南スーダン派兵での日報の隠ぺいが問題となっています。

去年は、「北朝鮮の核ミサイル問題」をめぐり、Jアラートが発動されるなど、多くの国民が恐怖を煽られる事態が繰り返されました。しかしながら、平昌オリンピックを契機に話し合いによる解決を図ろうとする動きが進み、4月27日には南北首脳会談が開催され、近い将来米朝首脳会談が予定されています。世界はこうした平和へ向けての動きを歓迎しています。

ところが、安倍首相は「対話のための対話では意味がない」としてアジアを戦争の危険にさらす発言を繰り返しています。

このように安倍政権は、9条を「改正」して日本を戦争できる国にし、国民の生命や人権をないがしろにししながら軍事優先の政策を推し進め、日本、アジア、世界を戦争に巻き込もうとしています。絶対に許すことができません。

さらに、森友・加計学園問題に見られる政治の私物化、民主主義の根幹を揺るがす公文書改ざん・隠ぺい、さらにはメディアへの露骨な圧力や攻撃、放送法を改正して政権の都合のよい宣伝のみを行うメディアを作ろうとするなど、次々と憲法を無視し、民主主義をないがしろにする政治を続けています。

このようななか、私たち国民には、主権者として、憲法を、民主主義を、人権を守り育てる政治を実現する努力が求められているのではないのでしょうか。

県民の皆さん！

私たちは、先の戦争の反省に立って、再び戦争の惨禍が起きることのないようにすることを決意し憲法を制定しました。憲法は、国民一人一人が個人として尊重され、自由、平等、平和な日本・国際社会を実現することを目指しています。今こそ、私たち主権者たる国民の不断の努力が求められています。日本国憲法の価値を学び、広め、9条改憲を絶対に阻止しましょう。

2018年5月3日

5・3憲法を活かす宮城県民集会

